

保育計画成果報告書

法人名等	久留米ヤクルト販売株式会社
施設名	ヤクルトたんぽぽ保育園
報告者（役職）	久保田 仁美（施設長）
住所・連絡先	久留米市津福今町 219-2
	☎ 0942-48-1537
	E-mail tanpopo@kurume-yakult.co.jp

○タイトル（保育計画）

野原だよ！全員集合！！

○主な助成備品

園庭遊具

1. 保育計画策定の目的

久留米ヤクルト販売株式会社で、初めて認可の事業所内保育施設を開園しました。

開園にあたっては室内の遊具はそれまでの届出保育施設で使用していた物で賄いました。今回新設した保育園には南側に園庭を整備していますが、遊具がないため園外活動として遊具のある公園へのお散歩を取り入れています。

しかし、体調がすぐれない時や天候によって園外に行けない時は、1日を通して室内遊び及び砂遊びになっています。

今回、この事業を活用した保育計画策定を行うことで、子ども達の好奇心を誘い、楽しみながら体力や運動能力を高めることができれば当園の理念に基づいた保育展開が充実できると思いました。

2. 具体的な実施内容

遊具からの方が一の転倒リスクを考え、砂を敷き詰めた園庭に、森の腰かけシリーズ（いもむし・ちょうちょ・バッタ・トンボ・ミツバチ）を固定設置しました。スイングアニマル（パンダ・くま）は人工芝の上に設置し、雨天時には室内に移動できるようにしました。

3. その成果と評価

☆森の腰かけシリーズ（いもむし・ちょうちょ・バッタ・トンボ・ミツバチ）

砂の上に設置したことで、砂との感覚あそびから始まり、遊具に砂をのせたり、バケツに砂を入れてひっくり返したり、砂遊びの机代わりにして、子ども達自ら遊びを作り出していました。

また、背中が平らな昆虫や丸い昆虫などに、自分でまたがり、見様見真似でバランスをとりながら座ることができていました。

2.3人乗れる昆虫もあり、「自分の」から「一緒に」座りながら、協調性や社会性を身につけていました。



1.2歳児は『はらぺこあおむし』の絵本の読み聞かせが大好きな時期でもあり、ちょうちょやあおむしのイメージが大きくふくらんだようです。



人工芝と砂場との区切りとして「あおむし」と「みつばち」と「バッタ」を並べました。2歳児がその3体を綱渡りするようになり、運動能力の向上に発展しました。それを見た0歳児が3か月後には真似してハイハイするなど縦割り保育ならではの学びがあり、期待以上の成果を得ることができました。



☆スイングアニマル（パンダ・くま）

0歳児の室内遊びにこの思いで取り入れましたが、経験のない0歳児はなかなか興味を示しませんでした。その後、2歳児が楽しそうに乗って遊びだしたことがきっかけで、動物の名前を覚え興味を示し、大好きな動物に乗るために工夫してバランスをとるなど多くの体験ができました。



4. 今後の課題と展望

ヤクルトたんぽぽ保育園の園庭に楽しい仲間が集まったこの遊具の導入で、子ども達が満足して遊べる環境作りのきっかけになったと思います。

保育理念（生きる力・思いやり・想像力・自己肯定感・健康であることを大切にする）に基づき、保育士が考えてさせる遊びではなく、子ども達の創意工夫を大切に、本当に危ないこと以外は子どもの思いを尊重する、見守り保育の実践が私達の課題です。

0, 1, 2歳児の保育の充実や質の向上のため、職員一人一人が目の前の一人一人の子どもに合わせた具体的な保育の在り方を考え、みんなで検討し合えるような保育園にしていきたいと思います。

以上